

参考資料 ファイヤーのつどい

営火場階段照明スイッチ



コンセント差込口



営火場の火床
(蓋は重いので注意)



グラウンドでの
ファイアー場所A



一輪車



カッター研修施設 (徒歩0分)
水泳場 (徒歩10分)
荒代海岸 (徒歩10分)

灰捨て場

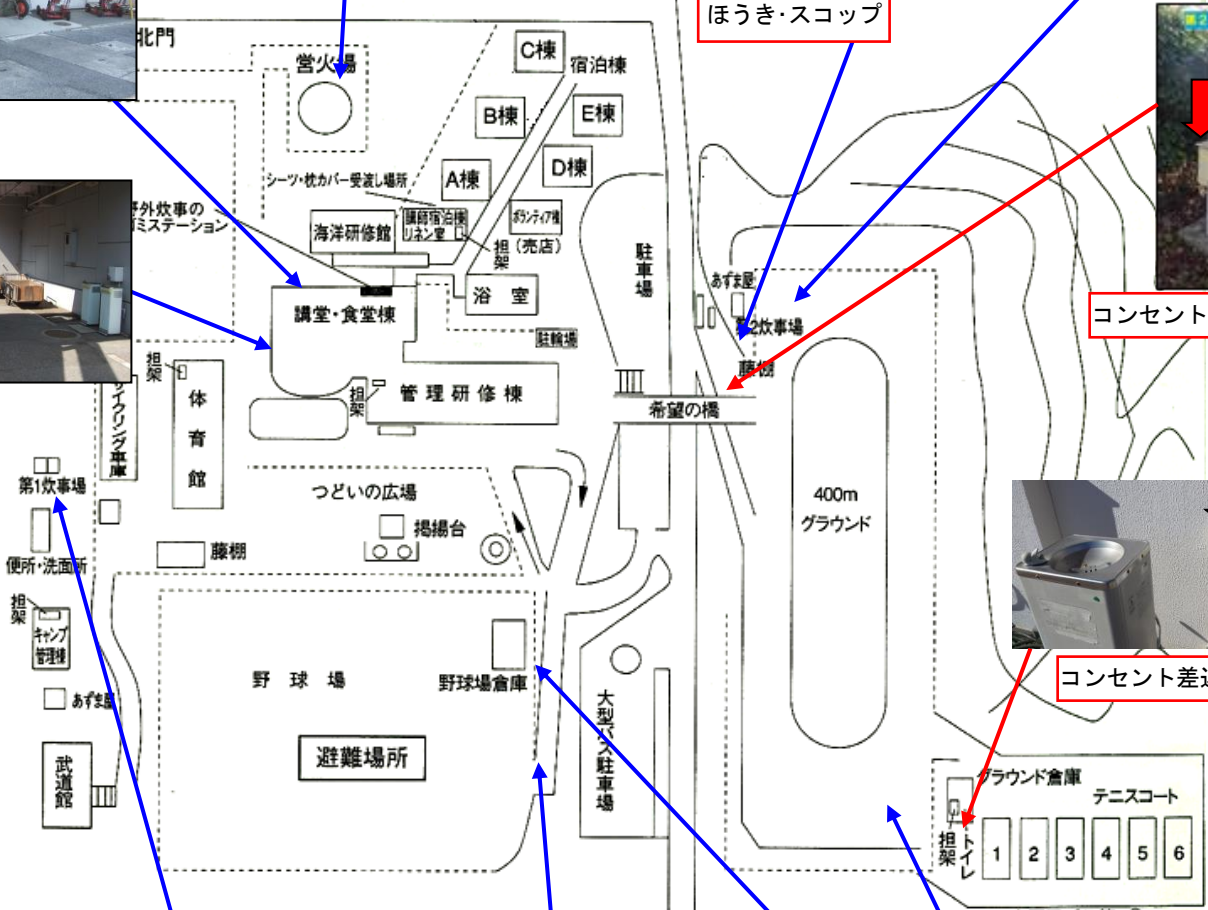


ほうき・スコップ



コンセント差込口

リヤカー



コンセント差込口

コンセント差込口



灰捨て場

ほうき・スコップ



コンセント差込口
ブレーカースイッチ



グラウンドでの
ファイアー場所B



ファイヤーのつどい 薪の組み方 (例)

必ず薪台（営火場は火床）の上に薪を組む。



1. 火持ちをよくするために1束縦に置く



2. 周りに8角形に薪を組んでいく（太いものから）



3. 束と同じくらいの高さまで組んだら束の周りに新聞紙をねじって入れる。



4. 細い薪を束の周りに入れていく



5. 8角形に組んだものの上に正方形に薪を組んでいく。



6. 残った薪は、薪台の周りに3～4m以上離して放射状に並べる。

7. 灯油を薪にかけると（300m L程度）点火と同時に勢いよく燃える。